



Haiku, Poem

2014-2024

AKEMI_M JAN. 9, 2024

2014 MARCH ON THE "GTT" OUTING AT SANKEI-EN

☆ 梅香る春の日いろりの匂いかな (AKEMI)

☆ PLEASANT FLAMES, PEDALS AND BLOOMS. SPRING TIME IS HERE
(PYRRHA)

2017

- 4/6 ◆ 孫と来て神田川辺の花見かな
◆ 神田川水面にさくら散りにけり
◆ 江戸川橋ほとり歩けばさくら散る
(Marie) ◆ 雪だるまかわいくできたうれしいな

2021

1/4 ☆ 初詣帰り道なる冬菫 (瀬戸神社)

1/10 ☆ 孫と巡る円覚寺庭カンアヤメ (円覚寺にて)

2/3 ☆ 春浅し空に映えるや梅の花 (安立寺にて)

☆ 立春の庭に小さき黄水仙 (龍華寺にて)

2/14 ☆ 掲示板の番号指しつ孫に春 (孫娘にうれしい中学入学合格通知)

<2/24 三溪園にて>

☆ 紅梅のかそけき香りや春の宵

☆ 梅の香よ思い出さすなはるか遠き日

☆ その香り我が幼子かかの人か

☆ 池の端にネコヤナギ見ゆ懐かしき

☆ 山茱萸の黄の色ゆかし三溪内苑

3/22 ◇ 春霞 わがこころなる春の原景

◇ 手に取ればかそけき香りヤマザクラ

3/31 ◇ 鎌倉や松葉谷なる利休梅 (Akemi)

♣ 鎌倉や寺を廻れば花いかだ (Simon…孫 小2)

♣ 浄妙寺竹林の中静かかな (原文のママ、Simon)

4/23 ◇ 春ゆかし Mari 九段中エンジのりぼん

4/25 Aeon、スタバにて

- ◇ ランチカフェ川辺の緑に“Blue Skies” (Noah and the whale)
- ◇ ひとりいるカフェの向こうの空あおし
- ◇ スタバテラス川辺にそよぐ高さ緑木

5/9 ◇ Berg 歌う我に微笑めキバナフジ (次の歌には Alban Berg の曲)

- 7/6 ◇ 梅雨空に密かに香れ白き蓮 (大船フラワーセンター)
- ◇ 「森の道」に連なり咲くやヤマユリの花

8/16 ◇ 幼き日の写真 FaceBook にそと置き異郷に立つ友カール陥落
(世銀で働くわが友 AH Sofizada がカール脱出)

9/3 ◇ Ev'ry Valley 高めよ荒れ野は平らかに (Messiah を歌う。聖書の哲学も学びながら)

9/6 ◇ 昼は蝉夜は蟋蟀夏がゆく (職場からの帰り道、ふと聞くとコオロギの鳴き声)

9/15 ◇ ひさかたの我が子と窓に海を見ゆ (自宅でのひととき)

10/2 ◇ 野辺ゆけば飛蝗(ばった)しおからコスモスの花 (氷取沢の農園の道を歩く)

11/9 ◇ 交響曲イタリア響く秋の宵 (サントリーホール満席の賑わい。Riccardo Muti と Wien Phil の豊穡の夜)

<2021/12/23 脳出血発症・6か月入院>

2022

(March 6 Sun) リハビリ病院の食堂から

- ◆春の空にかえるがひょっこり顔を出し
- ◆バラ色雲ワニの形で浮かんでる
- ◆青空に白 (しろ) 雲見れど心くもり (Mar 7)

(March 8 Tues)

- ◆私の見る白きすじ雲ウクライナにも!
- ◆今日も晴れ春はその薄バラ色の空に

(Mar 12)

- ◆春近し今咲く花を思いみる

(「うちへ帰りたい」小さき声で電話する人あり。(「私は歩けるようになって帰る!」)

- ◆この春は窓から見るのみ来春こそ (これって,not 俳句)
- ◆大船の玉縄桜ブログで見る

(Mar 27 Sun)

- ◆リハビリの病室窓外(まど) にマメザクラ
- ◆空の青小さき白雲たなびきぬ
(少しだけ動くようになってきた左脚。「歩く」感じがわかってきたこの頃)

(Apr 20) ~うた忘れ久方ぶりの俳句読む~

- ◆うす曇り長く続きて卯月ゆく
- ◆外眺めリハビリを待つ午後 3 時
- ◆鎌倉の庭に咲く花想う午後
- ◆ロドレイア咲く季節来ぬ見てみたし

(May 26)

- ◆サクラ散り病室(まど)の外今ツツジ咲く
(6/19 の退院まで俳句はここで終わり。あとはトイレの練習、リハビリの追い込み、家の改築、退院準備で超多忙)

<退院後>

私も、季語の入った句を!

- 7月 ◆ 七月は湾 (うみ) を眺めて過ごしけり
- ◆ 梅雨明けやベランダの花咲きそろう
 - ◆ 夏の夜やヨットに若者の声響く
 - ◆ 湾 (うみ) の朝カヤック数艇走りゆく
- 7/16 ◆ ムラサキの小さき花よ蕃茉莉
- 7/20 ◆ 朝焼けに海もバラ色午前 4 時
- ◆ ベランダに小さきイチゴふたつあり
- 8/26 ◆ 熱帯夜なすすべもなく顔洗う

<9/29 幼い日、近所の人たちと一緒に楽しんだ**山の芋煮会**を思い出して・・・ >

- ◆ ナナカマド枝がお箸の芋煮会
- ◆ 秋の山赤い実連なり芋煮会
- ◆ 秋晴れの里に芋煮の声響く

<9/30 **鎌倉の金木犀**を思う>

- ◆ 鎌倉の庭に香るや金木犀
- ◆ 誰も来ぬ鎌倉の庭金木犀
- ◆ 木犀の香り寂しや鎌倉の家
- ◆ (想像・・・) 訪ね来て庭に木犀の香りきく

10/9 ◆ 秋の雲ふわり流れて湾(うみ) 青し

- ◆ 背を伸ばし歩いてみたり秋の日に
- ◆ 歌うため舞台中央へ歩く夢

<10/1 (土) 8月から、目標にしていた**鎌倉の庭の訪問**達成!>

- ◆ (鎌倉の) わが庭にやさしく咲くや金木犀
- ◆ 木犀のその金色の花やさし
- ◆ 木犀のかそけき香り吸い込みぬ
- ◆ 木犀よ秋には香れ我なくも (あれ? 縁起悪い?)
- ◆ 枝折りて部屋に木犀の香を惜しむ

<10/29 **金沢動物園にて**>

- ◆ キリンオカピのんびりエサ食む秋の午後
- ◆ 秋晴れの動物園内歩行練習
- ◆ 山の端の斜面色づき土湿る
- ◆ 湿る土に足を取られて散歩かな
- ◆ 走る子らのそばをとぼとぼ老婆ゆく (私のこと。。)
- ◆ All in all I enjoyed that beautiful day!
- ◆ Even in a wheelchair I felt joy and happiness on that autumn day

<11/8 穏やかな秋の日、BGM 付きの YouTube チャンネルで秋を楽しむ>

- ◆ 行く秋を今年は TV のスクリーンで見る
- ◆ 鮮やかに紅葉色変え秋は行く
- ◆ 緩やかに秋は深まり去りゆきぬ (まだ、だけど！)

<11/10 通所施設「こもれび」にて>

- ◆ 窓越しに木漏れ日受けて湯に入る
- ◆ 山裾の斜面にこもれび光る秋

11/30 ◆ 秋の朝銀杏並木をデイケアへ

- ◆ “また明日”友と手を振る秋の暮
- ◆ 金色の銀杏の落ち葉踏みしめん
- ◆ 秋の日は湾 (うみ) もゆっくり暮れてゆく

<12/14 こもれび通所の道では、銀杏の黄色い葉が風に吹かれている。>

- ◆ 冬空に銀杏の枯葉光りおり
- ◆ 冬空にイチョウの枯葉走りおり
- ◆ 冬空や銀杏の黄葉の寂しけり

<12/16 冬が少しずつ深くなる>

- ◆ 浴槽に冬の陽まぶし目を閉じぬ (daycare にて)
- ◆ 車中から銀杏 photo 撮る冬の朝 (daycare へ向かう車中)

<12/21 At Komorebi <冬至>>

- ◆ 湯に浮かぶ柚の実左手で握ってみる
- ◆ あの日からはや 1 年の冬至かな

<12/28 こもれび Daycare 2022 最終日>

- ◆ 大浴槽も人影まばら年の暮

12/30 **ハイム花壇散歩**

- ◆ 年の瀬の晴れたる午後のひとときはパウル・リンケ(PAUL LINCKE)の「ベルリンの風」
- ◆ ゆく年をベルリン・フィル聴き惜しむかな

2023

1/20 komorebi にて

- ◆ 浴槽に冬の木漏れ日きらめきぬ
- ◆ 窓外の冬の陽(ひ)明(あか)く春近し
- ◆ 山裾に冬の陽射すをうれし見ゆ
- ◆ ジャズピアノ響くホールのランチタイム

1/21 ◆ 冬雲の紅色鈍く横たわる (自宅)
◆ 夕焼けの空にひとときミナレット(Minarets)

<Kindle で「**季語**」の勉強をしていると、ふと句が浮かんでくる。今日は幼き日の母の「角巻」>

- ◆ 角巻の母と二人の雪の道
- ◆ 雪の夜の母の角巻握った手
- ◆ 雪の日はえんじの角巻ひよいと広げ

<2/2 蠟梅の季節、でも見に行けないもどかしさ>

- ◆ 蠟梅の小さき花に春を知る
- ◆ 垣根越し蠟梅の香り懐かしむ
- ◆ 節分や鬼もかじかむ冬霰 (季語が3つも入ってるのはダメ?)
- ◆ 節分や鬼のパンツは黄色なり

<2/8 daycare の大きな甕に生けられた紅梅が見事>

- ◆ ふっくりの蕾で春を待つ紅梅
- ◆ 紅梅の枝ありそこだけ春の風

<3/8 日差しが暖かくなり施設への道には美しい花が・・・>

- ◆ 道行けば梅木瓜木蓮春の風
- ◆ 道端の名もなき黄花を揺らす風
- ◆ 春近し戸外歩行で陽のもとへ

<3/17 片吹町の桜並木を見て>

- ◆ サクラ咲けソメイヨシノもアケボノも

- ◆ 春の歌グノーメンデルシューベルト

<3/31 Komorebi にて（2023 の桜を思って）>

- ◆ 2年越しに見る桜花ただ美しき
- ◆ 薄紅のさくらの花びら空の青
- ◆ さくら咲きクスノキ芽吹く瀬戸キャンパス
- ◆ さくら追い銀杏並木に新芽吹く

4月 ◆ 友といて眺めん青き平潟の湾（umi）

- ◆ 懐かしき歌をうたいて春の午後
- ◆ 良き友のいる幸せ海静か

<4/7 入浴時窓外に見える円海山の山裾を見る>

- ◆ さくら過ぎ円海山に春驟雨
- ◆ さくら散り里山は今日嵐なり

<4/11 春の風が吹く平潟湾、ベランダにはいくつもの野の花>

- ◆ ベランダに野の花咲くやふたつみつ
- ◆ そっと咲くすみれカタバミほとけのざ
- ◆ 海の調べ今日の曲はラフマニョフ

<4/21 円海山のすそ野にある Komorebi は施設が山裾に広がり野の花が咲き、山からは涼風が。>

- ◆ 山裾にポピーが二輪風に揺れ
- ◆ 山の端に赤いポピーが風に揺れ
- ◆ 山からのそよ風ポピーを揺すりをり
- ◆ 春の風ポピーを揺らし渡りゆく

<4/28 Daycare への道にハナミズキとヤマボウシが咲く季節>

- ◆ Daycare の道に真白きハナミズキ
- ◆ 春風に揺れるや白きハナミズキ
- ◆ 風に揺れる小さき花よハナミズキ

- ◆ 鎌倉の庭のヤマボウシいつ咲くや
- ◆ ヤマボウシ咲く水無月は鎌倉へ

<4/28 毎週金曜日楽しく歌ってくれた「専属歌手」 Hirose さんがもうすぐ施設に移ると聞いて>

- ◆ 「山小屋の灯」歌い別れゆく

<5/17 円海山のふもとに薫風が吹き、木々の若葉を揺らしています>

- ◆ 山裾の野に葉を揺らすくるみの木
- ◆ 栗の木の若葉を揺らす五月風

<5/24 歩行訓練はいつも試行錯誤>

- ◆ 戸外へと勇んで足を踏み出しぬ
- ◆ おぼつかぬ歩みのわれに風すがし
- ◆ 重い足一歩ずつ前ただ前へ
- ◆ 我が歩み励ます友のドレミの歌

<6/9 俳句を作る時間がある Komorebi だが無理矢理(?)作ったのでダメかな? >

- ◆ 降る雨にピアノの音よ溶けてゆけ
- ◆ ピアノ弾く窓を見やれば紫陽花の青

<6/18 ハイム花壇散歩で中庭で作った俳句>

- ◆ 海風を受けてベンチに休みおり
- ◆ 庭に咲くアジサイ・コスモス・グロリオサ <Gloriosa 和名：キツネユリ（狐百合）>
- ◆ 中庭のベンチに脚を伸ばしおり

<6/28 Seong-Jin Cho さんの東京文京区（Civic Hall）コンサートの日

- ◆ 東京に行って聴きたし Seong Jin Cho
- ◆ Cho Seong-Jin のコンサート希望にリハビリへ

<6/30 白鷗会報で白鷗句会の作品を見て作ってみた>

- ◆ (ヨット)レース地へ湾を進みゆくヨット二艇
- ◆ 狭き湾の釣船すり抜けカヌー走る
- ◆ 日曜昼前の湾は忙し釣船帰る

<7/4 梅雨の合間に歳時記を開いてみた>

- ◆ 水無月や笹の香りに母思う
- ◆ 三枚の笹葉で包む粽(ちまき)かな
- ◆ 三角の笹の葉開き粽食む

<7/21 暑いけどお風呂は快適・楽しい時間>

- ◆ 夏風呂に山からの風そっと吹き
- ◆ 山からの風受け風呂には三老女

<8/6 孫娘 Mari is now in San Francisco>

- ◆ Mari のいるサンフランシスコ青い空
- ◆ "妹"腕に微笑む Mari に陽のやさし

- 8月
- ◆ American Blue の小さき花涼し
 - ◆ 沖縄の花も避難の酷暑かな
 - ◆ 暑さにもめげず「左・右」前進だ！

<9/24 酷暑を乗り切りやっと思行けた**大船フラワーセンター**！>

- ◆ コスモスを探し走れば赤とんぼ（孫 Simon のこと）
- ◆ 陽に映えて金の穂揺らすあわだち草
- ◆ 植物園の隅に一輪彼岸花
- ◆ 植物園木陰のカフェでピクニック
- ◆ 芝生広しいっぱいに手を伸ばしおり（子と孫たち）
- ◆ 青空まで届きそうな樹見上げたり（私・・・）

<9/27 こもれび：「そういえば、俳句を忘れていた！」と気づく>

- ◆ ふとみれば桜葉色づく九月かな

- ◆ ひとりふたり来なくなる人を思う秋（寂しい）

10月

- ◆ 息切らし歩いた空にゴジラ雲（自宅で室内歩行訓練）
- ◆ 川も湾(Umi)も秋風に波揺らしおり
- ◆ 秋の陽に白波光る平瀬の海

<10/21 花壇散歩が難しそうに感じ、ちょっと意気消沈気味>

- ◆ ひな菊もテーブルで見る椅子生活
- ◆ ミズヒキのちいさき花のそと咲き
- ◆ ベランダの Marigold に秋を知る
- ◆ 秋風に乗れるかヨットが勢ぞろい

<10/22（日）、23（月）と、続けて花壇散歩実現>

- ◆ 海浴いの庭にコスモス風に揺れ
- ◆ コスモスの季節に花壇の散歩かな
- ◆ 湾の庭コスモスダリア吾亦紅
- ◆ ひな菊が秋を告げるかそと咲き
- ◆ 青空に高く顔上げ金木犀
- ◆ 海面近く鷗群れ飛ぶ秋の朝

<10/25 こもれびにて>

- ◆ リハビリを初めて楽しと思えし日
- ◆ リハビリの我が背を押すや秋の風
- ◆ 秋風を受けて一歩ずつ進む
- ◆ 心地よし雑木色づく歩行コース

11月

- ◆ 今年(kozo)もまた空高く咲くコスモスよ
- ◆ ひそやかに強く香るや秋の薔薇
- ◆ ノイバラの小さき赤い実揺れる秋
- ◆ 野菊咲く里山の道に思い馳せ

- ◆ 小菊あり思うはいつも「人形展」
- ◆ 遠い日に父の愛でたる懸崖菊

<11/17 急に寒くなり、Daycare の大きな浴室も外の冷たい雨に曇りがち>

- ◆ 秋雨に浴室かすみ声くもる
- ◆ 秋風にふと見渡せば樹々寒し
- ◆ 夕空に三日月冴えて冬近し

11/22 ◆ 冬日浴び浴槽に左腕伸ばしてみる

- ◆ 秋の午後「からたちの花」そと弾き
- ◆ みちのくの山道に咲く白き花（一緒に弾いた「北秋の」より・・・）

12/6 ◆ 海を行く釣船に一羽冬鷗

12/13 ◆ 里山の陽だまりに咲く冬のひまわり（at Komorebi）

12/20 ◆ 湯気の立つ浴槽に二つ三つ冬の柚（at Komorebi）

<12/27 俳句を考える時間があるのはこもれび浴槽の3分間！今日もまた駄作と知りつつ句作かな>

- ◆ こもれびの浴槽私の俳句室
- ◆ 冬枯れの山を見上げて句作かな
- ◆ 冬枯れの山にかそけき日差しあり
- ◆ 葉牡丹に黄菊金糸の正月飾り

2024

（お正月を飾ってくれた花たち）

- ◆ 千両と万両飾り'24
- ◆ 薔薇パンジーハイビスカスのお正月
- ◆ 権現の山にこそあれ藪ツバキ
- ◆ 鎌倉の庭からひょっこりロドレイア